



29

紫川大橋(海の橋)

むらさきがわのおおはし



DATA・BOARD 29

- ①福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目～許斐町
- ②延長：87.3m，幅員：35m
- ③街路灯ほか
- ④アルミ製高欄，鋼材，セラミックタイルほか



「紫川大橋（海の橋）」は、紫川マイタウン・マイリバー整備事業として建設省の指定を受け、事業が進められてきたもので、紫川の最も河口に近い位置に架けられたことから、海を見る橋として整備された。

この付近は、江戸時代末期に小倉港として貿易船や軍船などで賑わったところで、往時を偲んで、街路灯や橋脚は船のマストとへさをモチーフに施工し、海のイメージを強調している。また、高欄、親柱、歩道照明は、シンブルなデザインで橋全体に同調させ、個性的な表現をひきたてている。

分離された歩道は、中央で車道部より一・二メートル高く設計されており、海の反対側の歩道からも、通行車両に妨げられず海を眺められる構造となっている。

● ふるさとを紹介する道